

## 「富士山の森づくり」プロジェクトの概要

### 1. 趣 旨

平成 14 年に大規模な病害虫の食害が発生した富士山麓の森林（山梨県鳴沢村の県有林：シラベ林虫害対策事業地）約 100ha の土地において植林を実施し、日本の象徴である富士山の美しい森の再生を目指し、森づくりを行うもの。

平成 19 年 4 月より、財団法人オイスカが企画主催し、「CO<sub>2</sub> ダイエット宣言」実行委員会との共催により地元山梨県や他企業の協力を得て実施している。

### 2. 森づくりの指針

山梨県では、被害地の早期復旧と被害地周辺隣地の被害予防のため、さまざまな樹種（針葉樹と落葉広葉樹）を混交して森づくりを進めようとしており、富士山の自然環境景観にふさわしい森林を早期に復元するため、当プロジェクトでは次の 3 点に重点を置き、活動する。

- ・ 天然林の成熟段階（ブナ、ミズナラなどを中核とする森）に近づけた森林を人工的に造る。
- ・ できるだけ富士山の自生種を用い、環境変化に対して耐性のある遺伝的多様性の高い森林を造る。
- ・ さまざまな機関や団体の参加・協働のもとに森林づくりを実施する。

### 3. 計画概要

名 称： 「富士山の森づくり」

企画主催： （財）オイスカ（<http://oisca.org/>）

共 催： 「CO<sub>2</sub> ダイエット宣言」実行委員会（主催：東京電力）

協 力： 山梨県

実施場所： 山梨県鳴沢村、富士山麓の山梨県県有林（標高 1,600m）【下図】

面 積： 約 100ha（うち植林面積約 50ha）

複数の企業にて 5 年間で実施する植林面積。



実施場所位置図



植林予定地  
病害虫の食害により間伐を行った場所